

(イ) 「小中一貫教育校における英語教育の取組」

鬼北町立日吉中学校 兵頭 香菜
鬼北町立日吉小学校 北岡 聡美

1 取組の概要

(1) はじめに

日吉小・中学校では、平成 25 年度より日吉小学校（児童数：42 名）と日吉中学校（生徒数：46 名）で地域ぐるみで小中一貫教育に取り組んでいる。その取組の 3 本柱は、

- ① 学校支援地域本部事業
（家庭・地域の支援を得る）
- ② 教育課程特例校
（学習資源を生かす）
- ③ コミュニティ・スクール
（家庭・地域の声を生かす）



(2) 中学校教諭による小学校への乗り入れ授業

ア 中学校教諭による単独授業

理科・・・5・6年：105 時間

イ 中学校教諭と小学校教諭によるティーム・ティーチング（合科）

音楽・・・3・4年：60 時間

5・6年：50 時間

外国語・・・5・6年：35 時間

ウ 養護教諭による単独授業

3年：4 時間

5年：1 時間

※ 小中学校兼務発令：5 名（理科 2 名 音楽 1 名 外国語 1 名 保健 1 名）

2 平成 26 年度（昨年度）までの取組

(1) 小学校における英語の授業

- 5・6年生において週 1 時間の英語の授業（ALT・中学校英語教員）
- 低学年においての外国語に親しむ活動：年間 2 回程度
- 特別支援学級も含め全校で外国語にかかわる学習を実施

(2) 授業以外の取組

- ハロウィンパーティー：外国との違いやハロウィンの由来を知る。
- クリスマスパーティー：英語によるカルタ取りを通して外国語に親しむ。
- 日本昔話の英語劇での発表：表現力豊かな英語
- 「童謡等を英語で歌う：歌う、聞く、読む」の活動を通して英語に親しむ。

- (3) 生徒の感想から
- 童話を英語で読んでもらって、数や果物の名前がたくさん分かった。
 - 「きらきら星」を英語で歌って、いろいろな英語が分かった。
 - 今度は、11 から 20 までの数を知りたい。
 - 英語を話せる人になりたい。

3 平成 27 年度の取組

(1) 「Hi, friends !」 1・2 の活用

平成 27 年度は、より深いコミュニケーションづくりを目指し「Hi, friends !」を様々な場面で活用した。

(2) 小中合同なかよし集会

小学校の児童会と中学校の生徒会が中心となり計画・企画・準備・運営を行い、低学年も含め全校で行った。

(3) 職場体験学習（中学 2 年生）の発表会

中学 2 年生が、自分たちの職場体験学習での内容を A L T と一緒に英語を通して小学生に発表した。

(4) 振り返りカードの活用

自分自身の活動の振り返りとともに、友達との協働による学び合いとして活用した。
(児童の感想)

- 英語と日本語では、スピードや強調するところがちがう。
- 発音をはっきり聞きとれる耳になりたい。
- 友達が教えてくれた。
- 数を数えるのが大変だったけど、となりの友達と数を数え直すことができた。



4 成果とまとめ

- 中学校教諭が小学校の授業に乗り入れをすることで、中学校入学前に児童の様子を把握することができた。
- 小学校の学級担任と中学校の外国語科教員と一緒に授業を行うことで、外国語活動の多様な指導法を中学校教員から学ぶことができる。
- 小・中の学びの系統性の理解が深まった。
- 外国語活動の授業の始まりやクラスルームイングリッシュを小・中学校で共通化することで、中学校英語への抵抗を少なくすることができる。
- 次の学習指導要領改訂では、小学校への英語の導入
- 小学校 3 年生からの外国語活動を開始する。高学年では、今の中学校の内容も含めた教科として英語を指導する。